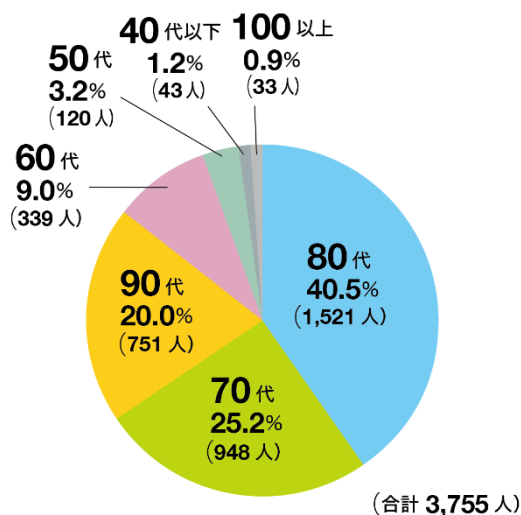


## 新型コロナウイルス感染症死亡の3,755事例 年齢は80代が最多、半数以上が救急搬送

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：岩崎博之）は、当社が持つ国内最大規模の診療データベースから新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者の死亡事例を調べたところ、2020年4月から2021年9月までで3,755人を確認。男女比では6対4となり、年代別で見ると80代が最多で、救急車で搬送された人は6割近くとなりました。入院時並存症（併発疾患）は2型糖尿病がトップでした。

今回の調査には、当社が二次利用の許諾を得ている急性期医療を提供する全国458病院からの診療データベース（実患者数3,821万人、2021年11月末日集計）を用いました。

### 【抽出患者条件該当患者数】

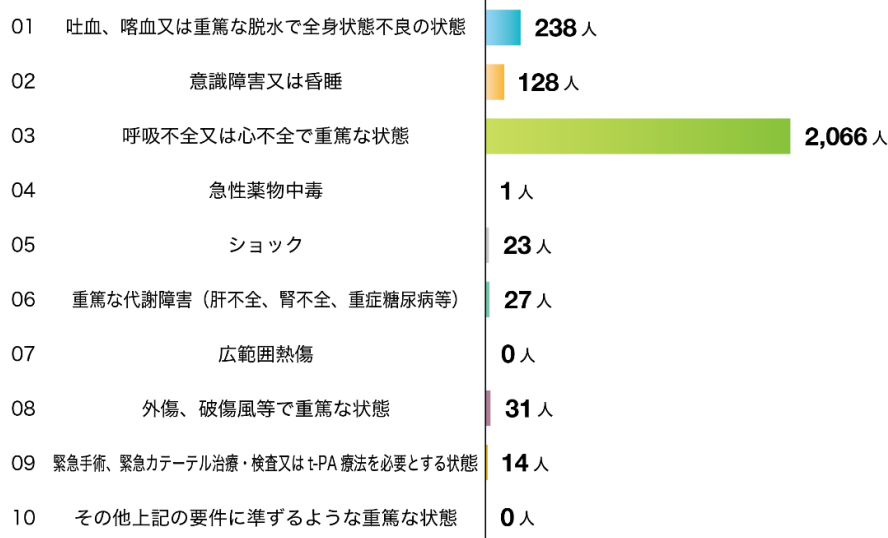


一方、救急車で搬送されてきた人は、全体（3,755人）の約6割に当たる2,184人でした。

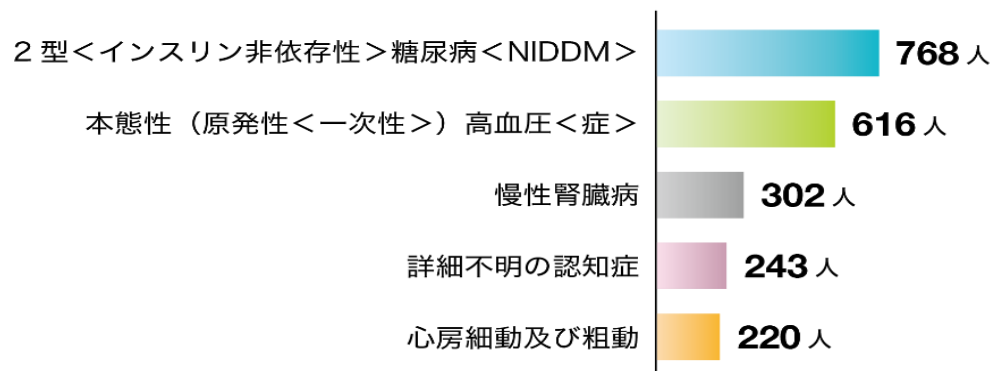
医師の診察などの結果、緊急に入院が必要であると認めた理由は、「呼吸不全又は心不全で重篤な状態」が一番多く、その次に、「吐血、喀血又は重篤な脱水で全身状態不良の状態」「意識障害又は昏睡」などが続きます。

その診療データベースのうちの451病院、2020年4月から今年9月末までの患者約1,364万人を対象に、退院日が2020年4月1日以降のCOVID-19の死亡事例を抽出、その結果、3,755人（男性2,341人、女性1,414人）を確認しました。年代別で見ると、100歳以上が33人（0.9%）で、90代が751人（20.0%）、80代が1,521人（40.5%）、70代が948人（25.2%）、60代が339人（9.0%）、50代が120人（3.2%）、40代以下が43人（1.2%）でした。

### 【救急入院医療の要件について（救急医療入院該当患者数 2,528人）】



## 【入院時併存症（1患者複数入力の可能性あり、2名のみ以上集計）】



また、併発疾患（※1）の上位は、2型糖尿病の768人で、その後に、高血圧（616人）、慢性腎臓病（302人）などと続きました。

喫煙歴	男性	女性	総計
なし	820	1035	1,855
あり	863	81	944
不明	658	298	956
総計	2,341	1,414	3,755

さらに、喫煙歴（※2）を調べたところ、3,755人のうちの喫煙歴「あり」は944人で、喫煙歴「なし」は1,855人、喫煙歴「不明」は956人でした。

※1 複数疾患のケースがあるため、死亡事例数と併発疾患数は一致しません。

※2 現在、非喫煙者でも過去に実績があれば「あり」とカウントしています。

\*現在非喫煙者であっても過去に実績があればありとカウントする

＜本件に関するお問い合わせ先＞  
メディカル・データ・ビジョン株式会社  
広報室：君塚・赤羽・汲田  
TEL：03-5283-6911 E-mail:pr@mdv.co.jp